

●2004年3月8日

アソシエーツ オブ ケープコッド インクが 新工場でのFDA製造承認を取得

生化学工業株式会社(社長:榎 史朗)の米国連結子会社であるアソシエーツ オブ ケープコッド インク(以下、ACC社。マサチューセッツ州、社長/CEO:エー・ジェイ・ミューズ)は、米国FDA(食品医薬品局)より、エンドキシン測定試薬の新工場での製造承認を取得いたしました。これにより、新工場が実質的に稼働することとなります。

ACC社では、製造および研究開発の充実を目的として、全ての設備を一カ所に集中させた複合的な新社屋棟を建設し、既に研究開発部門、事務部門の移管が完了していました。新社屋棟内の新工場については、稼働に向けてFDAへの申請作業を進めていましたが、このたび、主力製品である2製品(パイロテル-マルチテストおよびパイロテル-T)の製造承認を得るにいたしました。今後も順次他製品の申請を行い、平成16年末までに全ての製品を新工場に移管する計画です。

ACC社はカプトガニの血球成分から作られるエンドキシン測定試薬を米国で初めて開発し、FDAからの承認を得た会社です。生化学工業は平成9年にACC社を買収し、生産、営業、研究開発を中心とした経営全般の強化・拡充を図ってきました。また、エンドキシン関連製品の生化学工業からACC社への製造移管も進めています。今回の承認取得により、新工場での生産体制がスタートし、今後のACC社の事業発展の弾みになるものと期待できます。

以上